

「KROSS×OVERアマチュア大会 -NEXTネクスト-」ルール対比表(小中学生MMA)【心技館 JOF総合 A ルール】

項目	【心技館 JOF総合 A ルール】 (ジュニア)	
	ワンマッチ	
階級	中学生以下 (クラスA) ※男女混合 -25kg・-30kg・-35kg・-40kg・-45kg・-50kg・-55kg・-60kg	
試合時間	3分1R	
防具	ヘッドギア	主催者用意/フェイスガード付きヘッドギア
	レガース	選手用意/スネサポーター (マジックテープタイプ不可)
	ニーパッド	選手用意
	グローブ	選手用意/拳サポーター (オープンフィンガーグローブ可)
	<ul style="list-style-type: none"> ●ファールカップ (男子は必須・女子は任意) ■試合コスチューム 短パン・ハーフパンツ・スパッツいずれも可。 尚、上衣はラッシュガード・裸のいずれも可とする。(但し、肘の部分より長い物は不可/女子はラッシュガードを着用) 試合進行妨げる衣服や、金具付きなど怪我の恐れがあるものは不可とする レスリングシューズは着用不可とする	
勝敗	勝敗の種類	<ul style="list-style-type: none"> ■勝敗はKO勝ち、TKO勝ち、判定勝ち、引き分け、失格によって決定する 打撃による KO 勝ち ポイントによる優勢勝ち 反則 3 回、およびレフリーが悪質と判断した場合による反則負け 旗判定による判定勝ち レフリーが危険と判断した場合によるレフリーストップ レフリーが続行不可と判断した場合によるレフリーストップ
	判定基準	<ul style="list-style-type: none"> ●レフリー1 名、サブレフリー2 名による計 3 名の旗判定とする ●判定基準はアグレッシブ>ダメージ>ポジショニングとする ※ 反則があった場合、考慮した上での旗判定とする ※ 判定による選手や第三者の抗議は一切認めません ※ 特例でレフリー1 名による判定もあります
	打撃、サブミッション、ポジショニングによるポイント基準	<ul style="list-style-type: none"> ■打撃 ●技がクリーンヒットしダメージが顕著に出た場合は KO とします ●技がクリーンヒットしダメージがある、または考えられる場合 2 ポイントとします ●ハイキックをクリーンヒットさせた場合、1 ポイントとします ●打撃により、相手を一方的に後退させた場合、1 ポイントとします ●ボディ攻撃やローキックによりダメージが認められた場合、1 ポイントとする ■サブミッション ●サブミッションによるタップアウト、またはレフリーストップで一本勝ちとします ●絞技(チョーク系、三角絞)において、技が成立している体勢になった場合、1 ポイントとします ●関節技において、クラッチが切れた際に技が成立する体勢になった場合、1 ポイントとします ■ポジショニング ・ガード、ハーフガード、サイド、トップ、マウント、バック(シングルフック可)いずれかのポジションを 3 秒以上キープすると 1 ポイント、テイクダウンからは+1 ポイントとする
	注意・減点	軽微な反則は口頭注意から行なわれ、改善が認められない場合は注意 (-2 ポイント)、更に反則をした場合は警告 (-3 ポイント)、更に反則をした場合は失格となります
反則技	【主な反則】 足の甲、足首スネ以外による全ての頭部への打撃 膝、肘、かかとによるあらゆる打撃、および指先、足先への打撃行為 脊髓、背骨へのあらゆる打撃行為 一方がグラウンドポジションでの両者のあらゆる打撃 グラウンドから立ち上がる瞬間の両者のあらゆる打撃 スタンド体勢でのバックチョーク以外の全ての関節、絞め技 前腕またはスネを押しつけて圧迫する絞め技 手首、脊髓への関節技 後頭部を強く引き、頸椎を圧迫させる絞め技 バスター、スパイクの禁止、又は投げの際に頭部から落とす行為 体を浴びせての大外刈りで相手を投げる行為 スタンドから飛びついてガードポジションをとる行為 相手の指、競技道具、衣類をつかむ行為 金的、目への攻撃、又は指による付き攻撃、又は道徳上許されない行為 カニばさみ、かわず掛け、さば折り等の怪我を誘発する投げ技 足に足を巻き付けて投げる行為(スタンドでのツイスターフックの禁止) 故意にリング、及びマットの外に出る行為 整髪量、ワセリン、体にオイルを塗付する行為	